

10月	モニターレポート	担当出張所	高槻
担当区間	淀川中流右岸 三島江河川公園～檜尾川合流点（右岸23.0km～28.2km）		
モニター実施日時	令和元年10月 3日（木）11時30分～12時45分 10月10日（木）10時10分～11時30分 10月16日（水）14時10分～16時		
天候	曇り		

（見出し）

- 1回目 淀江河川公園の自然と出会った人たちについて報告します
- 2回目 城西橋から鷺打橋間の芥川の自然の様子について報告します
- 3回目 檜尾川から河川公園の台風後の様子について報告します

10月3日

・いつものモニターセット（カメラ・双眼鏡・メモ用紙・水）に加えてサンドイッチも持って自転車で出発。河川公園駐車場から鷺打橋間を自転車でモニターしました。前回のモニター時にいろいろな自転車に出会いました。ここはきれいに舗装されていて自転車にもってこいのコースなので、私も自転車にしました。



驚きました。前回9月に彼岸花を見つけて感激したのですが、なんとびっくり！ものすごくたくさん群生していました。今日は10月3日です。この場所に9月に来たときは咲いていませんでした。気候の変化でサンマも彼岸花も例年より遅いと報道されていましたが、目の当たりにして複雑な気持ちです。でも、花はとてもきれいです。



・近づいて写真を撮り、ふと足元を見たらくつつき虫が靴やズボンに！面白いのでこのままつけておきましょう。

・船着き場近くの芝生では大学生？くらいの5～6人が野球！「パシッ」「パシッ」とボールを受ける音がしばらく続いた後「お～い 水分補給しよう！」の声が上がりしばらくすると笑い声に変わりました。若い人のエネルギーが溢れていました。

・枚方大橋の下を通り抜けゴルフ場わきをサイクリング。橋の下ではお弁当を食べている人が一人。自転車は絶えず追い越されたり出会ったりでした。ランニング・ジョギングも人もいて平日の昼間ですが私の視界から人が

11tak 森下モニター【淀川】

途絶えることはありませんでした。国交省のような制服を着て自転車に乗って移動している方は、「植物の調査」をしている方でした。ご苦労様です。



・河川公園を西に枚方大橋の下を通りさらに西へ。鷺打橋を見ながらさらに道なりに行くと芥川に行きつきました。見ると川には小さな船が。釣りをしているのでしょうか？二人でのんびり昼下がりを過ごしているような船の動きでした。



・今回は船着き場で休憩。川を眺めながらサンドイッチを出していると、おや！船が！川を下っていきました。空が暗くなって雨がポツポツしてきたので今日はこれで終了。

10月10日

・今月2回目の調査。城西橋から出発。看板には淀川合流点まで2.7キロとありました。



・堤防から見る芥川は緑の草が生い茂りその中を静かに水が流れています。



・ススキが揺れて豊かな自然が溢れています。流れを見ていると心まで洗われるよう。



・車は進入禁止のはずなのにこの轍はどうして？しっかり車止めもあつたはず。この疑問は後程解決しました。



・道の両側はきれいに草刈りがされていて歩きやすかったです。見るともなくススキを見ていたら、なんと、真っ白な穂と少し色が濃い穂があるのに気がつきました。これにはびっくりです。早速名前を調べたら色が濃いのは「セイバンモロコシ」？らしいです。



・この道は通学路にもなっているらしく高校生が乗った自転車がたくさん通りました。昼のこの時間になぜ？と思ったのですが、おそらく今は試験期間なのでしょう。

・小さくて見えにくいですが、水鳥が二羽デートしています。しばらく見ていましたが、ずっとここから動きませんでした。うらやましい限りです。





・調査中に、犬の散歩をしている人にたくさん出会いました。犬が苦手な私は、この小さなかわいい犬にも吠えられましたが、飼い主はリードを短くしてくれました。また、うんちもしたのですが、ビニール袋に片づけていました。これまで出会った犬の散歩の方はみなさん後始末用の袋持参でマナーを守っていました。



・ゆっくり近づく車のエンジン音に気がつき、振り向くと「河川パトロール」でした。これで轍の謎が解けました。一般車は進入禁止ですが、轍はパトロール車のものとみられます。このパトロールで私たちは守られているのですね。ありがとうございます。



・城西橋から下り鷺打橋に到着。ここからの景色は見渡す限りの葛の原。

ここから先は歩行者専用道路が見当たらず、車と一緒に危険と判断し、今日の調査はここまでとします。芥川の豊かな流れに沿ってたくさんの方が行き交いました。通学の高校生、犬の散歩、ジョギング、散歩、サイクリングそれに国交省のパトロール車。川と生活が密着していました。

10月16日

・大型台風が来て関東に大きな水の被害が出ました。関西も強い風が吹き、雨が降りました。天候が落ち着いたこの日、調査に出ました。今回は演習橋下流の小さな橋からスタートし、枚方大橋近くの船着き場まで行きました。



・橋から見る両側の川は水が少なく、低水路のブロックが見える状態でした。しかし、堤外地の草はかすかに倒れて色が変わっていました。これは台風19号の雨で水位が上がったものと推察されました。ここまで水位が上がるのは驚きでこの川の状態からは想像が付きません。



・下流に向かって歩くと広い河原に出ました。一面に葛が茂っています。このような光景を見るのは初めてで高槻市内にこのような場所があるのに驚きました。



・さらに下流に行くとワンドに出ました。たっぷり水をたたえた川の向こうに枚方市が見え、とてもきれいでした。

・手前のぬかるんだところには真っ黒い羽をしたトンボが止まっていて、その周りで黄色の蝶が2羽舞っていました。水辺は小さな生き物の憩いの場でした。



・川沿いを歩くと遊歩道には草が生い茂っていました。道はしっかり見えたので大丈夫でしたが、このようなところを歩くのはちょっとした冒険気分でした。



・初夏に調査した折はあちらこちらに背の高い草が群生していました。黄色の花をつけたのでその草が「セイタカアワダチソウ」とわかりました。黄色のじゅうたんの様でとてもきれいでした。



・今回の終点、船着き場へ。作業服を着た人が3人。近づいてみたら「あぶない」と書いた看板でした。良く見えるように柵に取り付けてありました。この辺りは台風19号の雨で水が来たのでしよう泥がたまっていました。

・川岸のススキは水をかぶったように倒れていました。そしてその上にはペットボトルや空き缶が一带にありました。この光景は、前回は見られなかったので、これも台風19号のものと思われます。ここまで水が来たのかと思うとぞっとしました。



・大雨が降ると、なぜか川の様子を見に行き犠牲になる人がいます。これは助かる命ですから、本当に残念です。「不要不急の外出は避けて…」と放送されているにも関わらず、テレビでは大雨の中を腰まで水につかりながら歩く人が放映されます。天気予報は正確になり、台風がどのコースで進みいつ来るか予測できるようになっています。災害を最小限に食い止められる様に、私たちは自然への畏敬の念を持ち、謙虚にならなければと、切に願いながら10月の報告といたします。

(意見・感想・処置等)

10月のレポートありがとうございます。10月に入ってから過ごしやすい気候となり、モニター活動も気持ち良くできたのではないのでしょうか。また今回も沢山の写真ありがとうございました。植物や川の様子がとても綺麗に撮れていて、見ているだけで散歩したい気分になります。昨今の自然災害を目の当たりにしますと、少しの油断が大きな後悔を生むことがあると、我々一人一人が自覚して行動しないといけないと改めて感じます。

それでは来月のレポートも宜しくお願いします。